

## 在宅医療・介護連携推進事業の令和2年度実績報告及び 令和3年度・令和4年度事業計画（案）について

### 1 趣旨

在宅医療・介護連携推進事業の取組内容について、医療と介護の連携した対応が求められる「4つの場面（※）」に分けて、令和2年度の取組実績を報告するとともに、それぞれの場面における目指すべき姿、現状及び課題を踏まえ、令和3年度及び令和4年度の事業計画（案）をお示しする。

それぞれの場面における取組上の課題及び令和3年度・令和4年度の事業計画（案）について、委員の御意見を伺いたい。

### 2 「4つの場面」を意識した取組について

- (1) 地域の実情に応じた在宅医療と介護の連携の取組を推進していくためには、地域の「目指すべき姿」はどのようなものかを考えた上で、現状の把握及び課題の整理を行い、その課題解決に向けた取組を実施し、評価を行い、地域の「目指すべき姿」に向かって改善を講じていく必要がある。
- (2) 取組の推進に当たっては、在宅療養者のライフサイクルを踏まえ、特に、医療と介護の連携した対応が求められる「4つの場面」を意識することが重要である。
- (3) このため、令和2年度の取組実績及び令和3年度・令和4年度の事業計画（案）を、「4つの場面」ごとに整理した。

#### ※医療と介護の連携した対応が求められる「4つの場面」

①日常の療養支援	②入退院支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>○多職種協働による患者や家族の生活を支える観点からの在宅医療・介護の提供</li> <li>○家族への支援</li> <li>○認知症ケアパスを活用した支援 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○入院医療機関と在宅医療・介護に係る機関との協働・情報共有による入退院支援</li> <li>○一体的でスムーズな医療・介護サービスの提供</li> </ul>
③急変時の対応	④看取り
<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅療養者の病状の急変時における往診や訪問看護の体制及び入院病床の確認</li> <li>○患者の急変時における救急との情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所での看取りの実施</li> <li>○人生の最終段階における意思決定支援</li> </ul>

\* 「在宅医療・介護連携推進事業の手引き（厚生労働省老健局老人保健課）」から引用

### 3 令和2年度実績及び令和3年度・令和4年度事業計画（案）

別紙のとおり